

シルバー人材センターだより

発行／公益社団法人山陽小野田市シルバー人材センター

〒756-0806 山陽小野田市中川二丁目4-16 ☎0836-84-0448

配分金支払予定日の変更

すでにお知らせしたとおり、7月から配分金の支払日が原則25日となりますので、よろしくお願ひします。

なお、7月は25日が土曜日で、その前日、前々日が祝日のため、22日支払となります。

定例の入会説明会・就業相談の終了

当センターのホームページ等でお知らせしていますが、原則、毎月第3金曜日に実施していた定例説明会は、利用が少ないため6月で終了しました。今後は、入会を検討されている方の希望日時に行えるよう随時の入会説明のみとします。入会を検討されている方をご存知の場合には、事前に電話等で当センターと日時の調整をするようお伝えください。

なお、原則、毎月10日に実施していた就業相談についても、利用が少ないため6月で終了しました。就業相談についても随時のみとしますので、日時の調整を事前に電話等でお願ひします。

安全・適正就業強化月間

国が実施する「全国安全週間（7月1日～7日）」に合わせて、今年度も7月が「安全・適正就業強化月間」とされました。「安全はすべてに優先する。」の理念の下、月間中は当然ですが、常に、就業途上における交通事故の防止や安全就業対策（就業前後の安全意識等の徹底、機械器具の点検と整備の徹底、安全

保護具の点検と整備の徹底等）に配意してください。



▲当センター玄関に設置した安全就業のぼり

高齢労働者の割合が増す中、高齢者の特性を考慮して誰もが安心・安全に働けるよう「全国安全週間」のスローガンは「エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減」とされました。

熱中症予防ために

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密」を避ける等の対策を取り入れた生活様式の実践が求められています。そこで、今年の「熱中症予防」は、この「新しい生活様式」との両立が必要です。そのポイントを環境省、厚生労働省のホームページからご紹介します。

1 適宜マスクをはずしましょう

マスクは飛沫の拡散防止に有効ですが、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度上昇など身体に負担がかかることがあります。高温や多湿の環境下では、熱中症のリスクが高くなりますので、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、

マスクをはずすことも熱中症予防に有効です。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業は避けましょう。

2 エアコンの使い方について

熱中症予防にはエアコンの活用が有効ですが、一般的な家庭用エアコンには換気機能がありません。新型コロナウイルス対策には、冷房時でも窓開放や換気扇による換気が必要です。

3 日頃から健康管理をしましょう

「新しい生活様式」では、定時の体温測定や健康チェックが求められています。これらは熱中症予防にも有効です。平熱を知っておくことで、発熱に早く気づけます。

十分な睡眠や栄養バランスの良い食事を摂るとともに、体調が悪く感じた時は、無理せず静養しましょう。

4 こまめに水分補給をしましょう

のどが渇いていなくても、1日あたり1.2リットルを目安に水分補給をしましょう。1時間ごとや入浴前後・起床後の水分補給は有効です。また、大量に汗をかいた時は、塩分も忘れずに補給しましょう。

5 暑さを避けましょう

暑い日・時間帯には無理をしないようにしましょう。冷房のある屋内に入ることができない場合には、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動しましょう。また、服装は通気性が良く、吸水性・速乾性のある涼しいものを心がけましょう。

6 暑さに備えた身体を作りましょう

暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で適度に運動（「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度）をして暑さに備えた身体づくりをしましょう。

7 熱中症が疑われる人を見かけたら

涼しい場所（冷房の効いている室内

や風通しの良い日陰等）へ避難させるとともに、衣服をゆるめ身体（特に、首の周り、脇の下、足の付け根等）を冷やし、水分補給（スポーツドリンク等）をさせる。自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼んでください。

交通安全定期診断

山陽小野田警察署では、65歳以上の高齢者を対象に無料の運転講習を実施しています。ご希望の方は、厚狭自動車学校（☎72-0357）へ申し込んでください。申込の際は、「山陽小野田警察署から依頼を受けて応募します。」と伝えてください。詳細は、山陽小野田警察署交通課総務係（☎84-0110）までお問い合わせください。

事業実績

■会員数（6月末現在）

当月	456人(男315人,女141人)
前年同月	472人(男340人,女132人)

■請負・委任関係（6月）

(1) 就業延日人員・就業率(男/女)

当月	3,121人	59.0%(55.9/66.0)
前年同月	3,300人	59.7%(55.6/70.5)
当年度累計	7,048人	
前年度累計	9,163人	

(2) 契約件数・契約金額

当月	265件	16,173,425円
前年同月	294件	16,610,647円
当年度累計	655件	36,743,247円
前年度累計	752件	47,124,186円

■派遣関係（5月）

(1) 就業延日人員・契約金額

当月	497人	2,608,408円
前年同月	514人	3,003,677円
当年度累計	1,040人	5,532,783円
前年度累計	1,079人	6,252,305円

※ 前年度実績との比較ができるよう、今月号から「事業実績」の報告様式を上記のとおり変更しました。